

- 「A家族・家庭生活」 (1) 自分の生活と家族・家庭生活
- 「A家族・家庭生活」 (2) 家庭生活と仕事
- 「A家族・家庭生活」 (3) 家族や地域の人々との関わり
- 「A家族・家庭生活」 (4) 家族・家庭生活についての課題と実践
- 「B衣食住の生活」 (1) 食事の役割
- 「B衣食住の生活」 (2) 調理の基礎
- 「B衣食住の生活」 (3) 栄養を考えた食事
- 「B衣食住の生活」 (4) 衣服の着用と手入れ
- 「B衣食住の生活」 (5) 生活を豊かにするための布を用いた製作
- 「B衣食住の生活」 (6) 快適な住まい方
- 「C消費生活・環境」 (1) 物や金銭の使い方と買物
- 「C消費生活・環境」 (2) 環境に配慮した生活

学習指導要領に示された教科の目標を踏まえて、「評価の観点及びその趣旨」が作成されていることを理解した上で、

① 家庭科における「内容のまとめ」と「評価の観点」との関係を確認する。

② 【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとめごとの評価規準」を作成する。

小学校家庭科 題材の評価規準作成のポイント

「内容のまとめりごとの評価規準」作成のポイント

「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する際の【観点ごとのポイント】

○「知識・技能」のポイント

・「知識・技能」については、当該指導項目で育成を目指す資質・能力に該当する指導事項アについて、その文末を、「～を(～について)理解している」、「～を(～について)理解しているとともに、適切にできる」として、評価規準を作成する。

※ 「A家族・家庭生活」の(1)については、その文末を「～に気付いている」として、評価規準を作成する。

○「思考・判断・表現」のポイント

・「思考・判断・表現」については、教科の目標の(2)に示されている学習過程に沿って、「課題を解決する力」が身に付いているのかを評価することになる。基本的には、当該指導項目で育成を目指す資質・能力に該当する指導事項イについて、その文末を教科の評価の観点及びその趣旨に基づき、「～について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている」として、評価規準を作成する。

○「主体的に学習に取り組む態度」のポイント

・「主体的に学習に取り組む態度」については、基本的には、当該指導項目で扱う指導事項ア及びイと教科の目標、評価の観点及びその趣旨を踏まえて作成する。その際、対象とする指導内容は指導項目の名称を用いて示すこととする。具体的には、①粘り強さ(知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面)、②自らの学習の調整(その中で自らの学習を調整しようとする側面)に加え、③実践しようとする態度を含めることを基本とし、その文末を「～について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり(①)、振り返って改善したり(②)して、生活を工夫し、実践しようとしている(③)」として、評価規準を作成する。※ 家庭科に関しては、文頭を「家族の一員として、生活をよりよくしようと～」として作成する。

小学校家庭科 題材の評価規準作成のポイント

(1) 題材の検討

家庭科においては、学習指導要領の各項目に示される**指導内容を指導単位にまとめて組織した題材を構成し**、教科目標の実現を目指している。

題材の設定に当たっては・・・

各項目及び各項目に示す指導事項との関連を見極め、相互に有機的な関連を図り、系統的及び総合的に学習が展開されるように配慮する必要があるとともに、各項目に配当する授業時数と履修学年については、児童や学校、地域の実態等に応じて、各学校において定めることとしている。

実際の指導に当たっては・・・

履修学年を踏まえて、「**題材の目標**」及び「**題材の評価規準**」を作成した上で、学習指導要領解説等の記述を参考にすることで、「**題材の評価規準**」を**学習活動に即して具体化することが必要**。

題材の検討に当たって・・・

学習指導要領に基づき、解説を参考に、各内容の特質を踏まえるとともに、児童の発達の段階等に応じて、効果的な学習が展開できるよう、内容「A家族・家庭生活」から「C消費生活・環境」までの各内容項目や指導事項の相互の関連を図ることが重要である。

その上で、指導する内容に関係する学校、地域の実態、児童の興味・関心や学習経験を踏まえ、より身近な題材を設定することが大切です。



【設定した題材の例】

題材名：おいしく作ろう 伝統的な日常食 ごはんとみそ汁(第5学年)

小学校家庭科 題材の評価規準作成のポイント

(2) 題材の目標の設定

題材の目標は、学習指導要領に示された教科の目標並びに題材で指導する項目及び指導事項を踏まえて設定する。



【おいしく作ろう 伝統的な日常食 ごはんとみそ汁(第5学年) の題材の目標(例)】

- (1) 食事の役割と食事の大切さ、我が国の伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方について理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- (2) おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (3) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返ったりして生活を工夫し、実践しようとする。

『「B衣食住の生活 (2)調理の基礎」の「食生活」における2学年間を見通した題材配列と指導内容』を参照して下さい。「B衣食住の生活」の(1)「食事の役割」のア、(2)「調理の基礎」のア(ア)、(ウ)、(オ)及びイの指導事項の関連を図って設定しています。

学習指導要領解説のP100～101をご覧頂けると題材目標の構成が分かりやすいです！



小学校家庭科 題材の評価規準作成のポイント

(3) 題材の評価規準の設定

「内容のまとめりごとの評価規準(例)」から題材において指導する項目及び指導事項に関係する部分を抜き出し、評価の観点ごとに**具体化**、**整理・統合**するなどして作成する。ここでは、「B衣食住の生活」の(1)「食事の役割」のアと(2)「調理の基礎」のア(ア), (ウ), (オ)及びイの「内容のまとめりごとの評価規準(例)」を参考に設定している。

【題材「おいしく作ろう 伝統的な日常食 ごはんとみそ汁(第5学年)」の評価規準の検討例】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容のまとめりごとの評価規準	B(1)ア 食事の役割がわかり、日常の食事の大切さと食事の仕方について理解している。		家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
	B(2)ア(ア) 調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解している。 B(2)ア(ウ) 材料に応じた洗い方、調理に適した切り方、味の付け方、盛り付け、配膳及び後片付けを理解しているとともに、適切にできる。 B(2)ア(オ) 伝統的な日常食である米及びみそ汁の調理の仕方を理解しているとともに、適切にできる。	B(2)イ おいしく食べるために調理計画や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
		※下線部は、「内容のまとめりごとの評価規準(例)」と「題材の評価規準」の記載が異なる部分を示す。	

評価の観点ごとに**具体化**、**整理・統合**して題材の評価規準を作成する

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
題材の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割がわかり、日常の食事の大切さについて理解している。 ・調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解している。 ・我が国の伝統的な配膳の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ・伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方を理解しているとともに、適切にできる。 	おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割、 <u>伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方</u> について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
		※「内容のまとめりごとの評価規準(例)」に記載されているが、「題材の評価規準」に記載されていない部分については、 本題材で重点を置くもの に留意して作成。→「B衣食住の生活(2)調理の基礎」の「食生活」における2学年間を見通した題材配列と指導内容の「◎」を参照	

小学校家庭科 題材の評価規準作成のポイント

(4) 題材の評価規準の学習活動に即した具体化の検討 ①「内容のまとめりごとの評価規準(例)」の具体化の検討

授業において評価を行う際には、学習指導要領における各内容の各指導事項が2学年をまとめて示されていることから、「**題材の評価規準**」を**学習活動に即して具体化する必要がある**。

「題材の評価規準」の基となっている「**内容のまとめりごとの評価規準(例)**」を次のポイントに留意して具体化する。

【『内容のまとめりごとの評価規準(例)』を具体化した例』作成する際のポイント】

○「知識・技能」のポイント

・「知識・技能」については、内容のまとめりごとの評価規準(例)の作成において述べたように、その文末を、「～を(～について)理解しているとともに、適切にできる」として、**評価規準を作成**する。

※「A家族・家庭生活」の(1)については、その文末を「～に気付いている」として、**評価規準を作成**する。

○「思考・判断・表現」のポイント

・「思考・判断・表現」については、基本的には、内容のまとめりごとの評価規準(例)の作成において述べたように、**教科の目標の(2)に示されている学習過程に沿って、各題材において、次に示す四つの評価規準を設定し、評価することが考えられる**。ただし、これらの評価規準は、**各題材の構成に応じて適切に位置付けることに留意する必要がある**。

・具体的には、以下のように評価規準を設定することができる。

- ① **日常生活の中から問題を見だし、解決すべき課題を設定する力**については、その文末を「～について問題を見だして課題を設定している」
- ② **課題解決の見通しをもって計画を立てる際、生活課題について自分の生活経験と関連付け、様々な解決方法を考える力**については、その文末を「～について(実践に向けた計画を)考え、工夫している」
- ③ **課題の解決に向けて実践した結果を評価・改善する力**については、その文末を「～について、実践を評価したり、改善したりしている」
- ④ **計画や実践について評価・改善する際に、考えたことを分かりやすく表現する力**については、その文末を「～についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している」

○「主体的に学習に取り組む態度」のポイント

・「主体的に学習に取り組む態度」については、「思考・判断・表現」と同様に、基本的には、内容のまとめりごとの評価規準(例)の作成において述べたように、各題材の学習過程において、**三つの側面から評価規準を設定し、評価することが考えられる**。ただし、これらの評価規準は、**各題材の構成に応じて適切に位置付けることに留意する必要がある**。

・具体的には、以下のように評価規準を設定することができる。

- ① **粘り強さ**については、その文末を「～について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている」
- ② **自らの学習の調整**については、その文末を、「～について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている」
- ③ **実践しようとする態度**については、その文末を「～について工夫し、実践しようとしている」

小学校家庭科 題材の評価規準作成のポイント

(4) 題材の評価規準の学習活動に即した具体化の検討 ①「内容のまとめりごとの評価規準(例)」の具体化の検討

【「B衣食住の生活」の(2)「調理の基礎」の内容のまとめりごとの評価規準(例)を具体化した例】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容のまとめりごとの評価規準(例)を具体化した例	<ul style="list-style-type: none"> 調理に必要な材料の分量や手順がわかり、調理計画について理解している。 調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取扱い及び加熱用調理器具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切に使用できる。 材料に応じた洗い方、調理に適した切り方、味の付け方、盛り付け、配膳及び後片付けを理解しているとともに、適切にできる。 材料に適したゆで方、いため方を理解しているとともに、適切にできる。 伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方を理解しているとともに、適切にできる。 だしのとり方 実の切り方 実の入れ方 みその扱い方 	<ul style="list-style-type: none"> おいしく食べるために調理計画や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定している。 おいしく食べるために調理計画や調理の仕方について考え、工夫している。 おいしく食べるために調理計画や調理の仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。 おいしく食べるために調理計画や調理の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の一員として、生活をよりよくしようと、調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 家族の一員として、生活をよりよくしようと、調理の基礎について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 家族の一員として、生活をよりよくしようと、調理の基礎について工夫し、実践しようとしている。

意識して指導していく箇所を「・」で示している

小学校家庭科 題材の評価規準作成のポイント

(4) 題材の評価規準の学習活動に即した具体化の検討 ② 題材の評価規準を学習活動に即して具体化

先に示した「B衣食住の生活」の(2)「調理の基礎」の「『内容のまとめりごとの評価規準(例)』を具体化した例」を基に、学習指導要領解説における記述を参考に学習活動に即して、具体的な評価規準を設定する。

【題材「おいしく作ろう 伝統的な日常食 ごはんとみそ汁(第5学年)」における具体化された題材の評価規準】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割が分かり、日常の食事の大切さについて理解している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
B(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・米飯の調理に必要な米や水の分量や計量、調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ・みそ汁の調理に必要な材料の分量や計量、調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ・我が国の伝統的な配膳の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ・米飯及びみそ汁が我が国の伝統的な日常食であることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理の仕方について問題を見だし課題を設定している。 ・おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理計画について考え、工夫している。 ・おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について実践を評価したり、改善したりしている。 ・おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について考えたことを分かりやすく表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方について工夫し、実践しようとしている。

「指導と評価の計画」を作成する際、この具体化された評価規準を基に、どの場面で、何をどのように評価していくかを考えていきます。

学習活動に即して具体化して評価規準を設定することにより、授業の目標に照らして児童の学習状況を把握することができますね！

